

資料2

鹿島市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況  
(令和2年度分)に係る点検・評価について

令和3年度 鹿島市子ども・子育て会議  
(令和4年3月9日)

## 1. 教育・保育施設の提供体制の確保及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の考え方

教育・保育施設の提供体制	認定こども園・幼稚園・保育所及び地域型保育事業所が設定している利用定員の総数とします。
1号認定児童 教育希望（3～5歳児）	認定こども園、幼稚園の利用定員数です。
2号認定児童 保育必要（3～5歳児）	認定こども園、保育所の利用定員数です。
3号認定児童 保育必要（1～2歳児）	認定こども園、保育所、地域型保育事業の利用定員数です。
3号認定児童 保育必要（0歳児）	認定こども園、保育所、地域型保育事業の利用定員数です。

地域子ども・子育て支援事業の提供体制	地域子ども・子育て支援事業（13事業）の確保方策については下記のとおり整理します。	
1	利用者支援事業・特定型	実施施設においての利用者支援専門員の配置数とします。
	利用者支援事業・母子保健型	相談ができる対応可能数とします。
2	地域子育て支援拠点事業	子育て支援センターへ来客された人数に対して、対応できた人数とします。
3	妊婦健康診査	健診勧奨を行った結果、それを処理した人数とします。
4	乳児家庭全戸訪問事業	全乳児家庭に対する訪問件数とします。
5	養育支援訪問事業	養育が必要な家庭に対する訪問件数とします。
6	子育て短期支援事業	各事業に対応できる人数とします。
7	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター)	事業の進捗状況を報告します。
8	一時預かり事業	事業を行う施設での利用実績とします。
9	延長保育事業	事業を行う施設での利用実績とします。
10	病児・病後児保育事業	市外施設での利用実績及び事業の進捗状況を報告します。
11	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	各クラブの定員数です。
12	実費徴収に係る補足給付を行う事業	※事業の実施はありません。
13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	※事業の実施はありません。

○用語解説

No.	用語	説明
1	1号認定児童	教育標準時間認定。満3歳以上の小学校就学前子どもであって、学校教育のみを受ける子ども
2	2号認定児童	保育認定。満3歳以上の小学校就学前子どもであって、保育を必要とする子ども
3	3号認定児童	保育認定。満3歳未満の保育を必要とする子ども
4	特定教育・保育施設	幼稚園、保育所、認定こども園
5	特定地域型保育事業	少人数の子どもを預かる事業 小規模保育事業（定員6～19人）やベビーシッターなど ※鹿島市にはありません。
6	量の見込み	事業の利用希望者数など
7	確保方策	利用希望に対する受入体制（定員など）の確保の内容および実施時期。目標値。

○4ページ目以降の表の見方

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

支援人数		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	利用者数見込み（計画策定時）				
	実績 (B)	各年度末時点の利用者数 (R3年度は12月末現在)				
確保方策	計画 (C)	利用希望に対する定員などの 確保の対応策（計画策定時）				
	実績 (D)	確保状況の実績数				
進捗率	(D) / (C)	確保量の進捗率 (100%を超えていたら達成していることを示す)				
確保方策と量の見込みの差	実績 (D) - (B)	実際の利用者数と定員との差 (マイナスは定員を超えて提供していることを示す)				

## 2. 令和2年度 事業実施状況 点検・評価

### 【概略】

#### (1) 教育・保育施設の提供体制・・・P.4～7

・令和2年度は幼稚園1施設、保育所14施設、認定こども園1施設において提供を行っていました。(令和3年度は幼稚園1、保育所12、認定こども園3)

- ・4月1日時点および10月1日時点において、待機児童はありませんでした。
- ・0～2歳児は定員を超えて利用をされていますが、施設全体の定員に応じて、弾力的に受入を行っていました。

#### (2) 地域子ども・子育て支援事業の提供体制（主な事業抜粋）

##### ①利用者支援事業・母子保健型・・・P.9

- ・令和元年度から子育て総合相談センター（子育て世代包括支援センター）を設置し、切れ目のない支援ができるよう努めています。

##### ②地域子育て拠点事業（子育て支援センター）・・・P.10

- ・年間の利用者数は1万人を超える数字で推移していましたが、今般の新型コロナウイルス感染症の影響により利用者は大幅に減っています。  
その様な中でも、相談件数・利用者ニーズに対応しつつ、更に利用者にとって訪れやすい施設の運営に努めていきます。

##### ⑦ファミリー・サポート・センター・・・P.15

- ・平成29年度より事業を開始し、子どもの預かり等の援助を受けたい会員と、援助を行いたい会員とのマッチングを調整しています。
- ・令和2年度、3年度にファミリー・サポート・センターの利用要件の見直しを行い、利用しやすい事業となるよう努めました。  
令和2年度・・・保護者の買い物やリフレッシュのための預かりも対象とした  
令和3年度・・・援助会員自家用車送迎を導入し、送迎支援の受入体制を拡充した
- ・令和4年度については、鹿島市の助成制度（ファミサポ利用料の一部助成）を検討中であり、ファミサポ利用をしやすい制度や体制の強化を図ります。

##### ⑩病児・病後児保育事業・・・P.19

- ・嬉野市および江北町に加え、H30年度より武雄市にある病児受入施設へ委託を開始しています。

##### ⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）・・・P.20～27

- ・明倫小学校：近年、利用希望者数が定員を超えていますので、確保方策として専用施設を整備します。

(令和2年度計画策定済み、令和3年度で新施設の建設済み)

明倫小学校	R2・R3年定員数	R4年定員数	R4より
ほがらかA	35	40	敷地内施設（新施設）
ほがらかB	35	40	敷地内施設（新施設）
ほがらかC	25	35	体育館1階
げんき	40	40	敷地内施設
計	135	155	

【教育・保育施設の提供体制】

(1) 1号認定 【3～5歳教育標準時間認定：認定こども園・幼稚園】

〈事業の概要〉

3～5歳で保育の必要性はなく、教育ニーズが高い認定区分です。  
対象施設は認定こども園・幼稚園となります。

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

(単位：人)

1号認定（3～5歳教育希望）		R2	R3	R4	R5	R6	
量の見込み (利用者数)	計画 (A)	80	83	75	73	65	
	実績 (B)	86	108				
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	計画 (C)	87	97	97	97	97
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	企業主導型保育地域枠		—	—	—	—	—
	計		87	97	97	97	97
	特定教育・保育施設	実績 (D)	85	110			
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	企業主導型保育地域枠		—	—	—	—	—
	計		85	110	—	—	—
	計画と実績の差	(D)－(C)	-2	13			
	進捗率	(D)／(C)	98%	113%			
提供量と利用者数の差	実績 (D)－(B)	-1	2				

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうけた認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 特定地域型保育事業とは市より確認をうけた小規模保育・事業所内保育所等です。

〈実施状況〉

1号認定を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園3施設と幼稚園1施設となります。ただし、保護者の希望により市外施設の利用もあります。  
令和2年度は定員より量の見込みが1名上回りましたが、利用数に応じ弾力的に受け入れることで待機児童は出ていない状況です。  
今後も利用者のニーズに応えられるよう努めていきます。

〈今後〉

現在の施設利用定員数で量の見込みを確保できている状況です。

(2) 2号認定（保育必要）

【3～5歳保育認定：認定こども園・保育所】

〈事業の概要〉

3～5歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。  
対象施設は認定こども園・保育所となります。

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

(単位：人)

2号認定（3～5歳保育希望）		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み (利用者数)	計画 (A)	668	684	678	654	654
	実績 (B)	666	647			
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	706	696	696	696	696
	特定地域型保育事業	—	—	—	—	—
	企業主導型保育地域枠	—	—	—	—	—
	計	706	696	696	696	696
	特定教育・保育施設	678	646			
	特定地域型保育事業	—	—	—	—	—
	企業主導型保育地域枠	—	—	—	—	—
	計	678	646	—	—	—
	計画と実績の差	(D)－(C)	-28	-50		
進捗率	(D)／(C)	96%	93%			
提供量と利用者数の差	実績 (D)－(B)	12	-1			

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうけた認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 特定地域型保育事業とは市より確認をうけた小規模保育・事業所内保育所等です。

〈実施状況〉

2号認定（保育必要）を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園3施設と保育所12施設となります。ただし、保護者の希望により市外施設の利用もあります。  
市内認定こども園、保育所及び市外施設において量の見込みと同数確保できている状況です。  
今後も利用者の保育ニーズに応えられるよう努めていきます。

〈今後〉

現在の施設利用定員数で量の見込みを確保できている状況です。

### (3) 3号認定（保育必要）

【1～2歳保育認定：認定こども園・保育所・小規模保育等】

#### 〈事業の概要〉

1～2歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。  
対象施設は認定こども園・保育所・小規模保育等となります。

#### ■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

(単位：人)

3号認定（1～2歳保育希望）		R2	R3	R4	R5	R6	
量の見込み (利用者数)	計画 (A)	375	371	381	370	376	
	実績 (B)	380	347				
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	計画 (C)	380	380	381	381	381
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	企業主導型保育地域枠		—	—	—	—	—
	計		380	380	381	381	381
	特定教育・保育施設	実績 (D)	342	352			
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	企業主導型保育地域枠		—	—	—	—	—
	計		342	352	—	—	—
	計画と実績の差	(D)－(C)	-38	-28			
進捗率	(D)／(C)	90%	93%				
提供量と利用者数の差	実績 (D)－(B)	-38	5				

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうけた認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 特定地域型保育事業とは市より確認をうけた小規模保育・事業所内保育所等です。

#### 〈実施状況〉

3号認定（保育必要）を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園3施設と保育所12施設となります。ただし、保護者の希望により市外施設の利用もあります。  
市内認定こども園、保育所及び市外施設において確保方策の進捗率は90%となっています。また、計画値以上の利用状況となっています。  
実際の施設の運営状況では、施設全体の利用定員に応じて弾力的に児童を受け入れることで受入体制を整えており、待機児童はいません。

#### 〈今後〉

施設全体の利用定員に応じて弾力的に児童を受け入れることで受入体制を整え、待機児童がないよう対応していきます。

(4) 3号認定（保育必要）

【0歳保育認定：認定こども園・保育所・小規模保育等】

〈事業の概要〉

0歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。  
対象施設は認定こども園・保育所・小規模保育等となります。

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

(単位：人)

3号認定（0歳保育希望）		R2	R3	R4	R5	R6	
量の見込み (利用者数)	計画 (A)	44	41	30	36	33	
	実績 (B)	126	119				
確保方策 (提供量)	特定教育・保育施設	計画 (C)	44	44	43	43	43
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	企業主導型保育地域枠		—	—	—	—	—
	計		44	44	43	43	43
	特定教育・保育施設	実績 (D)	75	93			
	特定地域型保育事業		—	—	—	—	—
	企業主導型保育地域枠		—	—	—	—	—
	計		75	93	—	—	—
	計画と実績の差	(D)－(C)	31	49			
進捗率	(D)／(C)	170%	211%				
提供量と利用者数の差	実績 (D)－(B)	-51	-26				

※ 特定教育・保育施設とは市より確認をうけた認定こども園、幼稚園、保育所です。

※ 特定地域型保育事業とは市より確認をうけた小規模保育・事業所内保育所等です。

〈実施状況〉

3号認定（保育必要）を対象とする市内特定教育・保育施設は認定こども園3施設と保育所12施設となります。ただし、保護者の希望により市外施設の利用もあります。  
市内認定こども園、保育所及び市外施設において確保方策の進捗率は170%となっています。また、計画値以上の利用状況となっています。  
実際の施設の運営状況では、施設全体の利用定員に応じて弾力的に児童を受け入れることで受入体制を整えており、待機児童はいません。

〈今後〉

施設全体の利用定員に応じて弾力的に児童を受け入れることで受入体制を整え、待機児童がないよう対応していきます。



【地域子ども・子育て支援事業の提供体制】

①利用者支援事業・特定型（子育て支援センター）

〈事業の概要〉

子ども及びその保護者等が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な実施場所で情報収集と提供を行い、必要に応じ相談・助言等をするとともに、関係機関との連絡調整等を図る事業です。  
市全域を対象として地域子育て支援センターに利用者支援専門員を配置しています。

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

(単位：箇所)

実施施設における利用者専門員配置		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	1	1	1	1	1
	実績 (B)	1	1			
確保方策	計画 (C)	1	1	1	1	1
	実績 (D)	1	1			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	0	0			

〈実施状況〉

専門員1名を設置し、利用者ニーズに対応した情報提供や助言を行っています。  
月平均で30件の相談対応を行っています。

〈今後〉

相談件数が増加し、利用者ニーズも多岐にわたっており、今後も更に専門員のスキルアップや関係機関との情報共有・連携がより以上に必要となってくると考えています。

【地域子ども・子育て支援事業の提供体制】

①利用者支援事業・母子保健型（子育て総合相談センター）

〈事業の概要〉

子育てに関する総合的な相談窓口として、妊娠・出産・育児に関する各種相談を行います。また、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施し、切れ目のない支援を行います。

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

(単位：箇所)

実施施設における利用者専門員配置		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	1	1	1	1	1
	実績 (B)	1	1			
確保方策	計画 (C)	1	1	1	1	1
	実績 (D)	1	1			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	0	0		

〈実施状況〉

保健師1名と助産師1名を設置し、利用者ニーズに対応した情報提供や助言を行っています。  
 【相談件数】 電話：263件、来所：42件  
 【訪問件数】 妊産婦：40件、乳幼児：130件  
 【養育支援会議】 2回  
 【妊婦支援プラン】 35件  
 ※R3.12月末現在

〈今後〉

妊娠届出や乳幼児健診の等の機会に得られた情報を基に必要なに応じて、継続的に支援を行います。また要支援者の会議等を通して連携強化を図ります。

## ②地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）

### 〈事業の概要〉

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

### ■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人日／年間）

対象年齢（0～2歳児）		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	実績 (B)	9,141	7,624			
確保方策	計画 (C)	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	実績 (D)	20,000	20,000			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	10,859	12,376		

### 〈実施状況〉

専門指導員を配置し、センターの運営・子どもや保護者の交流を広げるひろばの集いやおはなし会などのイベント・子育てに関する相談対応を行っています。

令和3年度も新型コロナウイルスの影響により利用者については計画を下回りました。そのような中ですが感染対策等を行い、ひろばの利用や相談者は前年度並みにご利用頂いています。

### 〈今後〉

相談件数・利用者ニーズに対応しつつ、コロナ禍においても更に利用者にとって訪れやすい施設の運営に努めていくことが必要と考えます。

### ③妊婦健康診査

#### 〈事業の概要〉

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、「健康状態の把握」「計測」「保健指導」を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施します。

#### ■量の見込みと確保方策

※R3年度は11月末現在

(単位：人、回)

妊婦		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	400	400	400	400	400
	実績 (B)	320	229			
確保方策	計画 (C)	400	400	400	400	400
	実績 (D)	400	400			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	80	171		

#### 〈実施状況〉

妊娠期から出産まで妊婦の体調管理や費用負担軽減を図るため、14回の妊婦健診受診票（補助券）を交付しています。

母子健康手帳交付時に、県内医療機関で妊婦健診が公費で受けられるよう受診票を交付し、すべての妊婦が県内統一検査項目の健康診査を受診できるよう医療機関に委託します。

R2年度発行者のうち今年度受診者108人（うち転入者8人）でした。

R3年度母子健康手帳発行者157人のうち、妊婦健康診査受診者は121人（うち転入者14人）です。〔2月現在、11月受診分まで〕

#### 〈今後〉

今後も受診票の供給確保、委託により量の見込みを確保できる体制を整備します。

#### ④乳児家庭全戸訪問事業

##### 〈事業の概要〉

生後4カ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行います。

##### ■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

(単位：人／年)

対象年齢（0歳児）		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	250	250	250	250	250
	実績 (B)	177	140			
確保方策	計画 (C)	250	250	250	250	250
	実績 (D)	250	250			
	進捗率	(D)／(C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	73	110		

##### 〈実施状況〉

母子保健推進協議会に委託し、各担当地区の母子保健推進員が、2～3ヶ月頃の乳児の家庭を全戸訪問しています。4か月児健診の案内や子育てに関する情報を提供したり、養育環境等の把握に努めています。

12月末現在、149人の乳児家庭への訪問を依頼しており、140人実施の報告を得ています。

##### 〈今後〉

母子保健推進協議会と連携し、取り組んでいきます。

## ⑤ 養育支援訪問事業

### 〈事業の概要〉

養育支援が必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、その家庭の適切な養育の実施を確保します。

### ■ 量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

(単位：人)

支援人数		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	24	24	24	24	24
	実績 (B)	12	0			
確保方策	計画 (C)	24	24	24	24	24
	実績 (D)	24	0			
	進捗率	(D) / (C)	100%	0%		
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	12	0		

### 〈実施状況〉

子育て支援センターでは障がいや疾患等の子どもの心身の状況により、集団保育や交流活動が困難となる世帯に対し、自宅に訪問して療育・保育支援を行っています。交流ができるようになった方はすこやか教室への通所などにつないでいます。令和3年度については訪問事業対象者はいません。

### 〈今後〉

令和3年度は該当者がありませんでしたが、子育て支援センターと子育て総合相談センター、及び関係機関と連携を図りながら妊娠期から切れ目ない支援を行い、安心して出産・子育てができるよう努めていきます。

## ⑥子育て短期支援事業

### 〈事業の概要〉

本事業には①ショートステイ事業と②トワイライト事業があります。  
 ①は、保護者の病気や出張、冠婚葬祭などにより、家庭において子どもを養育することが一時的に困難になった場合、児童養護施設等で一定期間、養育・保護を行うものです。  
 ②は、就労等の理由により休日、夜間に保護者が不在となる家庭の児童を養育するものです。

### ■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

(単位：人)

対象年齢（0歳～18歳）		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	20	20	20	20	20
	ショートステイ	5	5	5	5	5
	トワイライト	15	15	15	15	15
	実績 (B)	52	19			
確保方策	計画 (C)	20	20	20	20	20
	ショートステイ	5	5	5	5	5
	トワイライト	15	15	15	15	15
	実績 (D)	20	20			
進捗率	(D) / (C)	100%	100%			
確保方策と量の 見込みの差	実績 (D)-(B)	-32	1			

※ 他市町に受入体制があります。現状を維持することにより、供給体制を継続します。

### 〈実施状況〉

嬉野市の児童養護施設「済昭園」に事業を委託し、受入れを行っています。

R3年度12月末実績【内訳】  
 ショートステイ 0人日  
 トワイライトステイ 19人日

### 〈今後〉

家庭において子どもを育児することが一時的に難しくなり、祖父母や地域内での子育ての助合いが十分にできない方が、安心して利用できる体制を確保するとともに、本サービスを積極的に活用してもらえるように広報することが必要と考えます。

## ⑦子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

### 〈事業の概要〉

子育て中の保護者を会員として、子どもの預かり等の援助を受けたいものと援助を行いたいものとの相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

### ■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人日／年間）

対象年齢（0歳～5歳）		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	40	40	40	40	40
	実績 (B)	17	48			
確保方策	計画 (C)	40	40	40	40	40
	実績 (D)	40	40			
	進捗率	(D)／(C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	23	-8			

### 〈実施状況〉

H29年度より事業を開始し、子育て支援の一環として依頼会員と援助会員のマッチングの援助を行っています。令和2年度はコロナの影響もあり利用実績は計画に届きませんでした。令和3年度についてはファミリー・サポート・センター事業が徐々に浸透し、利用方法の拡充も行ってきたため利用者数の目標を達成しました。

令和2年度・・・保護者の買い物やリフレッシュのための預かりも対象とした

令和3年度・・・援助会員自家用車送迎を導入し、送迎支援の受入体制を拡充した

### 〈今後〉

事業の周知・展開がまだまだ十分とは言えず、更なる広報、意見の収集などを進めます。また市の助成による利用料金の補助を検討し、依頼会員が利用しやすい事業となるよう努めていきます。



## ⑧-1一時預かり事業（幼稚園の預かり保育）

### 〈事業の概要〉

幼稚園在園児を対象とし、通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに、一時的に保育ができなくなった保護者に代わって希望者を教育（保育）する事業です。

### ■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人日／年間）

		R2	R3	R4	R5	R6	
量の見込み	計画 (A)	4,548	4,468	4,310	4,393	4,385	
	実績 (B)	3,850	5,966			—	
確保方策	計画 (C)	4,548	4,468	4,310	4,393	4,385	
	実績 (D)	4,548	7,468				
	進捗率	(D) / (C)	100%	167%	0%	0%	—
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	698	1,502	0	0	—

### 〈実施状況〉

令和3年度から認定こども園3施設と幼稚園1施設で実施しています。  
主に教育認定の在園児について、一時的に家庭での保育が難しい場合や長期休業日における保護者の負担の軽減・子育ての充実を支援できるよう受入れ体制を確保しています。

### 〈今後〉

提供体制が整っているため、今後も継続して事業を実施していきます。

## ⑧-2一時預かり事業（保育所での一時預かり）

### 〈事業の概要〉

保護者が病気や短期労働、社会文化活動への参加など、一時的に保育ができなくなった場合に保護者に代わって子どもを8時～17時まで保育所等で保育する事業です。日ごろ保育所等を利用していなくても、一時的に児童を預けることができる事業です。

### ■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人日／年間）

		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	1,175	1,165	1,142	1,140	1,127
	実績 (B)	1,071	710			
確保方策	計画 (C)	1,175	1,165	1,142	1,140	1,127
	実績 (D)	1,175	1,165			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	104	455			

### 〈実施状況〉

市内保育所及び認定こども園の全15施設において当事業が行われています。保育所等を利用していない家庭においても、一時的に家庭での保育が難しい場合があります。また、保護者の共働きの増加や核家族化の進行、ひとり親世帯の増加など多様化する家庭環境で、育児疲れによる保護者の負担を軽減するため、ニーズに柔軟な体制で対応していきます。

### 〈今後〉

現状を維持し、提供体制確保の継続を行います。

## ⑨延長保育事業（時間外保育事業）

### 〈事業の概要〉

保護者の就労形態の多様化に対応するため、保育認定を受けた子どもを認定こども園や保育所等の通常開所時間11時間を超えて保育を行います。

### ■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人／年間）

		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	8,820	8,707	8,518	8,510	8,443
	実績 (B)	8,537	5,766			
確保方策	計画 (C)	8,820	8,707	8,518	8,510	8,443
	実績 (D)	8,820	8,707			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差		実績 (D) - (B)	283	2,941		

### 〈実施状況〉

市内保育所全12施設、認定こども園全3施設において当事業が行われています。  
 計画で見込んだ量程度の利用者が見込まれ、受け皿の確保はなされています。  
 平成27年度に保育認定制度（保育標準時間と保育短時間）が導入され、より適切な時間まで保育を受けられるようになりましたが、就労形態の多様化に伴い通常の時間を超えて利用する方が多く、今後もニーズに対応していく必要があります。

### 〈今後〉

現状を維持し、提供体制確保の継続を行います。

## ⑩病児・病後児保育事業

### 〈事業の概要〉

急な病気や病気からの回復期などで、集団保育が困難な子どもを医療機関等の専用施設で一時的に預かり看護及び保育を行います。

### ■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

(単位：人)

支援人数		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	40	40	40	40	40
	実績 (B)	16	14			
確保方策	計画 (C)	40	40	40	40	40
	実績 (D)	40	40			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	24	26		

※ 他市町に受入体制（登録制）があります。今後、利便性をさらに向上させるため、市内に専用施設1か所の開設を目指します。

### 〈実施状況〉

武雄市、嬉野市及び江北町にある病児・病後児受入施設へ委託を行っています。  
 利用者は年度によって増減はありますが、保護者の病児保育に対するニーズも高いため今後も継続して事業を実施していきます。  
 R3年12月末現在の利用状況については、武雄市病児・病後児施設利用者5人、嬉野市病児保育施設利用者8人、江北町病児保育施設利用者1人です。

### 〈今後〉

保護者の利便性向上のため、市内での実施に向け施設整備を含めた事業費の確保と実施方法の検討が課題となっています。

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

〈事業の概要〉

保護者の就労や疾病等の理由で、放課後に家庭でみるできない小学生の保育を行います。

鹿島小学校区

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人）

		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	89	88	92	87	86
	実績 (B)	91	86			
確保方策	計画 (C)	105	105	105	105	105
	実績 (D)	105	105			
進捗率	(D) / (C)	100%	100%			
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	14	19			

〈実施状況〉

わんぱくりス（定員40名）、わんぱくパンダ（定員40名）、わんぱくキリン（定員25名）の定員総数105名にて事業を行っております。

〈今後〉

量の見込みを上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

明倫小学校区

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人）

		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	135	130	127	119	120
	実績 (B)	138	139			
確保方策	計画 (C)	135	145	145	145	145
	実績 (D)	135	135			
	進捗率	(D) / (C)	100%	93%		
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	-3	-4		

〈実施状況〉

令和2年度についてはほがらかAクラブ（定員35名）、ほがらかBクラブ（定員35名）、ほがらかCクラブ（定員25名）、げんきクラブ（定員40名）の定員総数135名で確保を行っております。利用実績は138名で利用者数が定員数を上回っています。

明倫小学校は市内でも児童数が多い小学校であり、児童数が年々減少している他の小学校に比べ児童数も横ばいで推移しています。また近年の核家族化や共働きの保護者の家庭も多い地区のため、放課後児童クラブの利用率が上昇しているため、利用人数は横ばいか微増となる見込みです。

〈今後〉

定員数を増やし受け入れ態勢を確保するため、新施設を令和3年度に建設し、ほがらかクラブA、Bについては令和4年2月から新規施設での運営を始めました。定員についても、ほがらかAクラブ（定員40名）、ほがらかBクラブ（定員40名）、ほがらかCクラブ（定員35名）、げんきクラブ（定員40名）の総数155名と定員増を行い、受入体制の確保を図っていきます。

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

北鹿島小学校区

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人）

		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	52	57	60	70	64
	実績 (B)	36	49			
確保方策	計画 (C)	70	70	70	70	70
	実績 (D)	70	70			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	34	21			

〈実施状況〉

令和2年度に敷地内に新しく専用施設を整備し、かがやきクラブA（定員35名）、かがやきクラブB（定員35名）の定員総数70名で確保を行っております。

〈今後〉

量の見込を上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

①放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

能古見小学校区

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人）

		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	39	39	39	35	39
	実績 (B)	31	34			
確保方策	計画 (C)	39	39	39	39	39
	実績 (D)	39	39			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差	実績 (D) - (B)	8	5			

〈実施状況〉

すぎの子クラブ（定員39名）の1施設で確保を行っております。

〈今後〉

量の見込を上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。



⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

浜小学校区

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人）

		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	49	41	46	46	46
	実績 (B)	41	37			
確保方策	計画 (C)	60	60	60	60	60
	実績 (D)	60	60			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	19	23			

〈実施状況〉

光の子クラブA（定員21名）と光の子クラブB（定員39名）の定員総数60名で確保を行っております。

〈今後〉

量の見込を上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

古枝小学校区

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人）

低学年（1～3年）		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	70	70	65	61	57
	実績 (B)	63	59			
確保方策	計画 (C)	70	70	70	70	70
	実績 (D)	70	70			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差		実績 (D)-(B)	7	11		

〈実施状況〉

ひまわりAクラブ（定員35名）とひまわりBクラブ（定員35名）の定員総数70名で確保を行っております。

〈今後〉

量の見込を上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

七浦小学校区

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人）

		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	21	18	13	17	15
	実績 (B)	17	15			
確保方策	計画 (C)	39	39	39	39	39
	実績 (D)	39	39			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	22	24			

〈実施状況〉

ゆめっ子クラブ（定員39名）の1施設で確保を行っております。

〈今後〉

量の見込みを上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。

⑪放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

七浦小学校区（音成分校）

■量の見込みと確保方策

※R3年度は12月末現在

（単位：人）

		R2	R3	R4	R5	R6
量の見込み	計画 (A)	9	8	7	7	7
	実績 (B)	10	9			
確保方策	計画 (C)	15	15	15	15	15
	実績 (D)	15	15			
	進捗率	(D) / (C)	100%	100%		
確保方策と量の見込みの差	実績 (D)-(B)	5	6			

〈実施状況〉

星の子クラブ（定員15名）の1施設で確保を行っております。  
分校のため低学年（1～2年生）のみの利用状況です。

〈今後〉

量の見込みを上回る定員数を確保できているので、現在の定員数を維持することとします。